

# 社協だより

第69号 平成24年10月1日発行

編集・発行



社会福祉法人  
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟  
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844  
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



夏休みを利用して、高校生がボランティア活動を体験しました。(写真：上・下左端)。  
“健康づくり” “生きがいがづくり” を目的に、老人クラブと共催でグラウンドゴルフ交歓会・  
ペタンク交歓会を実施しました。(写真：下中央・下右端)

“普段とかわりない営み” の大切さを実感したこの1年半。社会福祉協議会の活動も復興に  
向け、一步一步進みだしています。



# 社協事業も復興を目指して・・・

～平成24年度上半期に取り組んだ事業についてご報告します～



東日本大震災から約一年半が経過し、名取市社会福祉協議会（以下名取市社協）も、震災に対する緊急対応的な業務から長期的な復興支援や通常業務へと事業の内容が移り変わってきました。

震災当時運営を行っていた「名取市災害ボランティアセンター」（人的な支援を必要とする住民の方々と全国から駆け付けたボランティアのつなぎ役）、そこから衣替えをした「なとり復興支援センターひより」と、平成二十三年度における名取市社協の事業は震災復興・支援活動に関するものを中心となっていました。

そのような中、社会福祉大会や老人クラブ関係行事など、これまで実施していた関連行事の多くは中止となり、小学校でのキャップハンディ体験（福祉体験学習）も例年より少ない回数での実施となってしまいました。

今年度は、「まずは社協事業の復興を目指し、市民の皆さまが希望を持って生活できるように・・・」と四月から現在まで、さまざまな事業を実施しています。それら事業の運営の様子など、あらためてご紹介します。

## キャップハンディ体験事業

キャップハンディ体験とは、ハンディ（Handic）とキャップ（Cap）の前後を入れ替えて新しく作られた言葉で、「立場を入れ替えて考えよう」という気持ちが込められています。

小学校中学年から高学年を対象に実施しており、最近では、総合学習の授業として実施する機会も多くなりました。学校の先生方と打合せを重ね「子どもたちにどんなことを学んでもらいたいか」目標を定め、体験を作り上げます。

今年度は七月に実施した増田小学校など、多くの学校からご依頼をいただき、事業を実施しています。

子どもたちに、自分ができる身近な福祉を見つけてもらい、普段感じている思いやりの心を行動に移す勇気を持ってもらえるような体験を目指しています。



「体験学習に関するお問合せ先」  
 名取市社会福祉協議会事務局  
 TEL022・384・6669

## なとり復興支援センターひより

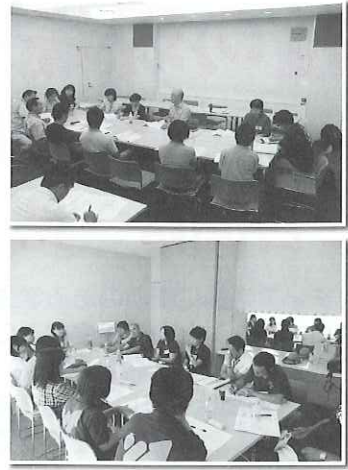
東日本大震災により被災し、応急仮設住宅に入居されている方々を中心に、復興に向けた生活支援を行うため「なとり復興支援センターひより」を開設し、市内七か所にある仮設住宅の集会所に常駐している生活支援相談員が、住民の方々への相談、見守り活動や自治組織との連絡調整などを行っています。

その活動も一年が過ぎ、住民の方々の関わりを通し、信頼関係もだいぶ構築されてきていると実感しているところです。

その反面、住民の方々が抱えている不安や悩みに直面するたび、自分たちが行っていることの意義や役割、重責について、相談員自身が思い悩むことも多くなっています。

そんな中、仙南二市二町（名取市、岩沼市、亘理町、山元町）の生活支援相談員による情報交換会が、八月二十九日名取市文化会館会議室を会場に開催しました。市町により取り組み状況は違いますが、相談員が抱える課題、事例について情報交換を行

い、相談員同士の交流とスキルアップにつなげました。



▶生活支援相談員情報交換会の様子。

### 「ひよりへのお問合せ先」

なとり復興支援センターひより  
 名取市社会福祉協議会事務所2階  
 TEL022・384・3185

## 老人クラブ 関係行事への共催

「健康増進」「生きがいづくり」への支援活動として、名取市老人クラブ連合会の事務局を担い、事業活動の展開を図っています。そのため、老人クラブで行事を開催する際は、社協が共催となり事前準備や当日の運営を行っています。

昨年度震災の影響で中止となった関連行事も今年度は可能な限り実施することとなり、六月にはグラウンドゴルフ交歓会、七月にはベタンク交歓会とスポーツ関係の行

事を例年どおり開催することができました。

十月十七日には老人クラブ最大の行事である「芸能大会」を名取市文化会館大ホールで開催する予定となっています。

老人クラブ会員をはじめ、高齢者の方々が楽しく、生きがいを持って生活できるよう、今後も老人クラブとともに、活動を展開していきます。



### 「老人クラブに関するお問合せ先」

名取市老人クラブ連合会事務局  
 (名取市社会福祉協議会内)  
 TEL022・384・6669

## 「いつぶく堂」開催

寝たきりの高齢者や認知症の高齢者等を支える家族を対象とした事業を名取市から委託を受け、社協では「いつぶく堂」という愛称を付けて実施しています。

介護者同士の交流を通じて、リラクセス・リフレッシュにつながることを目指し、企画・実施しています。

今年度は九月から三月まで八回シリーズで開催しています(詳しくはホームページをご覧ください)。また、電話での説明も可能です。

参加ご希望の方は、ぜひお問合せください。



### 「いつぶく堂」

#### 参加申込先

指定居宅介護支援事業所

ほっとなとり

(名取市社会福祉協議会内)

TEL022・384・6669



## 介護予防教室開催

名取市から委託を受け運営している「名取南地域包括支援センター」では、六十五歳以上の介護認定を受けていない方を対象に、担当地域である三地区(館腰地区・名取が丘地区・愛島地区)で、介護予防教室を開催しています。

介護予防教室では、健康維持を目的に、簡単な運動や体操、栄養に関する勉強などを行っています。

各地区毎月一回(七月～一月まで)開催していますが、会場となる公民館は、健康を保ちたいという意識の高い方々の参加意欲や熱心さに盛り上がっています。

### 「介護予防教室に関する問合せ先」

名取南地域包括支援センター  
 (業務受託法人)  
 名取市社会福祉協議会  
 TEL022・399・7570



# 福祉の現場を 体感しよう！

## ～「百聞は一見にしかず」～

ボランティア活動に関心のある学生や介護福祉士・社会福祉士などの資格を得たいという学生などの体験・実習受け入れを行っています。名取市社会福祉協議会（以下 名取市社協）が行っている様々な福祉活動や相談援助活動に関わって、「百聞は一見にしかず」を体感し、「福祉を知る、福祉を担う“社会人”に育ってほしい」と事業活動を行っています。この活動についてご紹介します。



### 「夏だ！」 高校生ボランティア集合

今年の夏、高校生十九名が配食サービスボランティアに参加しました。

配食サービスはひとり暮らし高齢者の方などへお弁当を届けるサービスで、お弁当の配達を通し、地域の中での見守り体制を整えることを目的に、名取市社協が実施しています。

毎年、「若い世代に福祉に対する興味・関心を持ってもらおう！」「体験を通し、人と交流する楽しさを感じてもらおう！」と、夏休みや冬休みに配食サービスボランティア体験の受け入れを行ってまいりましたが、今年の夏は宮城県名取北高等学校の学生十八名と聖ウルスラ学院英智高等学校の学生一名が参加しました。



配達前の打合せの様子。高校生の緊張をベテランボランティアの皆さんがほぐしてくださいました。



はじめは緊張した様子だった高校生の皆さんも、配達がはじまると終始笑顔で、元気によく活動してくれました。また、配食サービス利用者の皆さんもお孫さんのような高校生ボランティアに会話が弾んでいました。

今回の体験は、実際に活動しているボランティアの方々へ同行しての活動のため、現役ボランティアの姿を見て活動の「楽しさ」「やりがい」を感じてもらえた体験となりました。



## 高校生 ボランティアの声

～高校生の皆さんからいただいた感想の一部をご紹介します～

- ◆私は配食サービスのボランティアを経験するのは初めてでしたが、一緒にボランティアをした皆さんも、配達先の皆さんも優しく、楽しくて、本当に素晴らしい経験をする事ができました。車内ではボランティアについてや日常の話など、たくさんのお話を聞かせていただきました。とても楽しかったです。これを機に他のボランティアにも参加してみたいと思いました。 名取北高等学校 A・Mさん
- ◆私はボランティア活動は初めてで「失敗して迷惑をかけたらどうしよう…」と不安ばかりで大変でしたが、お弁当を渡した時に「ありがとうね」と言われると、とても嬉しかったです。またボランティアをやる機会があればぜひやってみたいです。 名取北高等学校 K・Mさん

## 実習生大歓迎!

名取市社協では、大学や専門学校などで福祉・医療について学んでいる学生の実習受け入れを行っています。

学校や目指している資格により、実習の内容は異なりますが、いずれも「福祉現場で活躍する後継者の育成」を目的として受け入れしており、平成二十四年度は県内三ヶ所の大学から九名、その他にも友愛作業所において看護学生十七名が短期の実習を行っています。

実習を受け入れることで、職員が教える(伝える)立場となり、日々の業務の振り返りや成長にもつながります。また、学生を通してその家族などに名取市社協の事業活動を知っていただく機会にもなります。実習は知識や技術を身につける場ですが、それだけでなく、福祉専門職としての心構え、人とふれあうことの楽しさなど、気持ちの面での学びも深まります。



## 社会福祉士実習

国家資格である社会福祉士の受験資格を得るための実習です。受け入れをしている実習の中では二十四日間と最も期間が長い実習となります。

社会福祉協議会のほかに、高齢者施設や障害者施設、地域包括支援センターなど、該当する施設の中から学生が実習したい施設を選び実習を行います。近年、実習受け入れに対する体制が整備され、受入施設側の指導者に「社会福祉士の有資格者」をはじめとした要件が定められました。

今年度の社会福祉士実習は、東北文化学園大学の学生二名が終了しており、九月末から仙台白百合女子大学学生二名の受け入れを予定しています。

## 居宅介護実習

介護現場で働く介護福祉士(国家資格)の資格を取得するための実習です。

主に、名取市社協が運営するほっとなとり(介護保険等のサービスを行う事業所)において、ホームヘルプや訪問入浴のサービスに同行し、三日間の日程で実習を行います。

毎年、東北福祉大学の学生受け入れを

行っており、今年度は八月に受け入れをおこないました。

### 【実習を終えて～学生の感想～】

自分の中でホームヘルプサービスは在宅へ訪問し、支援を行うという印象が強くありましたが、児童、障がい(児)者、高齢者と利用する人の範囲は幅広く、その分サービスの内容も在宅に限らず支援が行われているということ現場を通して学ぶことができました。

また、身体介護だけでなく、生活援助や家事援助も多く行われていました。施設では施設のやり方でそれらを行います。ホームヘルプサービスは在宅で行うため、利用者の家庭に合わせてやらなければならない分、難しさが伴うものだと思います。

東北福祉大学 M・Tさん



### 【実習を終えて～学生の感想～】

名取南地域包括支援センターの実習で、同行訪問をさせていただいたり、介護予防教室の運営をお手伝いさせていただいたり、貴重な体験ばかりで、多くのことを学ばせていただきました。同じ地域に住んでいても気づくことのできなかつた地域特有の問題を発見したり、福祉サービスの利用者と社会福祉士がどのように関わっているのかを自分の目で確かめることができました。この実習で学んだことを活かして、私も一人の名取市民として地域を支え、また将来福祉の仕事を担当者として福祉の問題について学びを深めていきたいです。

東北福祉大学 S・Sさん



地域包括支援センター業務の体験実習として東北福祉大学の学生を四日間の日程で受け入れしました。利用者宅への同行訪問や相談面接時の観察、介護予防教室への参加などといった実習を行いました。

## 包括支援センター実習

# 【平成23年度 収支決算報告】

名取市社会福祉協議会

現況報告

## 《収入》 (単位：円)

勘定科目	決算額	
会費収入	5,159,700	
経常経費補助金・助成金	60,383,776	
受託金収入	36,329,653	
共同募金配分金収入	9,614,258	
介護保険等事業収入	210,724,976	
授産事業収入	2,685,424	
その他	寄附金収入	22,943,208
	事業収入	519,620
	雑収入	1,374,455
	会計単位間繰入金収入	8,458,772
	積立預金取崩額	4,131,000
<b>収入合計</b>	<b>362,324,842</b>	

## 《支出》 (単位：円)

勘定科目	決算額	
人件費支出	243,835,020	
事務費支出	8,481,694	
事業費支出	46,151,480	
共同募金配分金支出	9,387,926	
授産事業支出	2,788,899	
その他	会計単位間繰出金支出	8,458,772
	固定資産取得支出	10,936,085
	積立基金等積立支出	11,192,512
財政運営基金積立支出	21,092,454	
<b>支出合計</b>	<b>362,324,842</b>	

# 【平成24年度 収支予算状況】

## 《収入》 (単位：円)

勘定科目	予算額	
会費収入	5,685,000	
経常経費補助金・助成金	30,139,000	
受託金収入	42,306,000	
共同募金配分金収入	2,786,000	
介護保険等事業収入	193,859,000	
授産事業収入	2,714,000	
その他	寄附金収入	101,000
	事業収入	27,116,000
	雑収入	418,000
<b>収入合計</b>	<b>305,124,000</b>	

## 《支出》 (単位：円)

勘定科目	予算額	
人件費支出	242,776,000	
事務費支出	8,206,000	
事業費支出	48,471,000	
共同募金配分金支出	1,797,000	
授産事業支出	2,714,000	
その他	預託金払出事業支出	100,000
	助成金支出	960,000
	予備費	100,000
<b>支出合計</b>	<b>305,124,000</b>	

名取市社会福祉協議会は皆さんにご協力いただいた会費や補助金、共同募金配分金、介護保険事業収入等により事業を運営しています。ここでは、平成二十三年度の決算状況と平成二十四年度の予算状況を報告します。

# 平成24年度名取市福祉調査表

調査期日：平成24年4月1日現在

調査員：民生委員児童委員

	増田	増田西	名取が丘	関上 (仮設住宅に 居住の関上地区の方 を含む)	下増田 (仮設住宅に 居住の下増田地区の方 を含む)	館腰	愛島	高館・ゆりが丘・ 相互台・那智が丘・ みどり台	合計
ひとり暮らし高齢者	313	183	188	90	29	113	49	151	1116
ねたきり高齢者	28	14	3	18	20	22	14	12	131
高齢者世帯	339	249	333	107	40	190	65	308	1631
在宅重度心身障害児者	42	49	39	34	31	37	21	46	299
高齢化 (%) ※ H24.5.31 現在	18.1	20.1	30.4	28.7	12.4	21.6	17.6	14.7	

※関上、下増田地区についてはそれぞれの地区民生委員が担当する世帯として集計しています。

名取市の現況

- ◆人口 72,322人
  - 男 35,491人
  - 女 36,831人
- ◆世帯数 26,450世帯
- ◆65歳以上の人口 13,664人
  - 男 5,949人
  - 女 7,705人
- ◆高齢化率 18.9% (平成24年5月31日現在)

## あたたかい善意 ありがとうございます

名取市社会福祉協議会に寄付をしていただいた方々を掲載しました。(平成24年2月1日～8月31日の間)

善意の気持ちを大切に、皆さまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。

★平成24年1月31日までの寄付については、「社協だより第68号」に掲載済みです。



▲今慶興産株式会社様よりご寄付いただいた時の様子。

### 現金の寄付

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)
H24.2.1	大手町5丁目町内会 会長 丹野良夫	40,000
2.3	七十七銀行愛の募金会 代表 鈴木 広一	150,000
2.7	平成15年度増田西小学校 卒業生一同	14,666
2.22	名取災害支援センター(館腰)	6,027
3.2	名取衣笠川柳会 会長 間 弦月	11,750
3.8	沼田 久男 沼田 利子(増田)	311,000
3.26	社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 会長 江浦 保	300,000
3.27	山鹿市立平小城小学校 職員・児童一同(熊本県)	15,000
3.27	熊本県立鹿本農業高等学校	16,000
3.30	館腰公民館 女性セミナー	577
3.30	館腰公民館 親子クッキング	156
3.30	社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 第22回東大阪市社会福祉大会 「募金箱」設置寄付金	95,139

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)
4.5	徳井由美子(大阪市)	10,000
4.11	長田 勝夫(堀内)	20,000
4.17	名取市ボランティア連絡会 愛島支部	30,000
5.1	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
5.7	名取災害支援センター(館腰)	6,623
6.4	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
6.5	名取災害支援センター(館腰)	10,911
6.7	一・八会 会長 赤沼 博(増田西)	30,000
6.26	今慶興産株式会社 代表取締役 今野 恵子	3,000,000
7.18	榊原 孝夫(名取が丘)	20,000
7.25	名取災害支援センター(館腰)	10,649
8.3	七十七銀行愛の募金会 代表 鈴木 広一	100,000

※その他、匿名希望の方から寄付金(9件/115,494円)をいただきました。

### 物品の寄付

(敬称略)

月日	氏名	物品名	払い出し先
H24.2.19	ハートTOハートプロジェクト実行委員会 松尾 やよい(神戸市)	石油遠赤ヒーター 1台	なとり復興支援センターひより
3.9	布田 博(増田)	座布団 10枚	名取南地域包括支援センター
3.22	倉島 史明(増田)	布団 6枚	市内高齢者
3.27	仙台青葉ライオンズクラブ(仙台市)	デジタルカメラ 1台	なとり復興支援センターひより
4.16	那智が丘老人クラブ福寿会 会長 菊地 勉	雑巾 130枚	名取市立那智が丘小学校 那智が丘児童センター 名取市那智が丘公民館
4.17	木村 みな(名取が丘)	リハビリパンツ 30袋 ポータブルトイレ 1台	市内高齢者
8.9	嶺岸 富江(高館)	タオル 108枚	名取市友愛作業所

※その他、匿名希望の方から物品(3件/カーテン生地、手作り小袋、米)をいただきました。

## 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!



10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」がはじまります。

赤い羽根募金は東日本大震災復興支援の財源として、災害ボランティアセンターの準備費用や被災された方々へ支援を行うボランティア団体などの活動費として活用されています。できる限りでかまいませんので、皆さまのご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

# 名取市社会福祉協議会からのご案内

～福祉のまちづくりを行っています～



## 第38回名取市社会福祉大会を開催します！

昨年は、東日本大震災の影響により中止としました「名取市社会福祉大会」を平成24年11月29日(日)午後1時15分から名取市文化会館中ホールを会場に開催します。

大会は、福祉事業に功績のあった方々に表彰状並びに感謝状を贈呈するほか、記念事業も行います。今回の記念事業は、昨年、名取市内の仮設住宅の集会所や名取市文化会館を会場に復興ライブを実施していただいた青森県五所川原市出身のデュオ「サエラ」を迎え、ミニライブを行います。入場は無料です。是非、足を運んでいただき、心に響く歌の世界を追い求めてきた「サエラ」の「すてきな歌」を堪能してください。



懐かしい歌謡曲から民謡・童謡などお楽しみください。

## 「老眼鏡クーポン券」を20名様に差し上げます

メガネの相沢 名取店様より「敬老の日」にあたり、名取市内の高齢者の皆さまへお祝いとして、老眼鏡クーポン券20組をご寄付いただきました。抽選で20名様にこのクーポン券を差し上げます。応募方法は、下記のとおりです。たくさんの方のご応募をお待ちしています。

**【対象者】** 満65歳以上で、ご本人がメガネの相沢名取店に出向くことができる方(検眼が必要です) ※過去に当選した方はご遠慮願います。

**【申込方法】** 官製はがきに「老眼鏡クーポン券」と記入し、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、下記住所へ郵送してください。

**【申込締切日】** 平成24年10月15日(日)当日消印有効

※申込多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。

なお、当選発表はクーポン券の発送をもってかえさせていただきます。



## 日常生活用具給付制度を知っていますか？

この制度は、自宅で生活している身体・知的障がい者(児)の方々を対象としたもので、市役所に申請することで日常生活を送るために必要な機器(電動ベッド、入浴補助用具、オムツなど)の給付を受けることができる制度です。

指定居宅サービス事業所ほっとなとり(福祉用具)でも、この制度の利用に関するご相談をうけたまわっています。専門スタッフがご自宅に伺っての相談も可能です。ぜひお問合せください。



【お問い合わせ、ご相談、応募先】

**社会福祉法人 名取市社会福祉協議会**

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 022-384-6669

<http://www.natorisyakyo.or.jp/>